

やさしい街づくり！元気な長崎！



長崎市議会議員

いづわ清隆 だより 第15号

平成18年8月 発行責任者：馬場 尚之 長崎市水の浦1の1 TEL861-6032

高比良末男 五輪清隆 後援会役員総会



暑中お見舞い申し上げます

五輪市会議員は、高比良県議・地域
役員の皆さんと梅雨時期の6月10日・
11日・24日・25日の4日間、危険箇所
のパトロールを行い、街灯・手すりの
設置や生活道路の整備など21箇所を点
検し、長崎市など関係先へ改善の要請
を行いました。

地域防災パトロール実施



▽青溝の整備（江平3丁目）



△市道の拡幅対策（西山2丁目）

「五輪清隆」後援会総会を開催！

去る、6月28日（水）に「五輪清隆」後援会総会を約180名の皆さまにご参加いただき開催しました。

総会では、坂本後援会会長、高比良県議より挨拶があり、その後「五輪市議」から今日までのご支援・ご協力に対するお礼があり、来春施行されます長崎市議会議員選挙への出馬に向けての決意が述べられました。

懇親会では、高比良県議の後援会会長の早瀬進会長の乾杯で始まり、終始和やかな雰囲気の中、3年前の厳しかった選挙の思い出話や、次期選挙への激励など会話に華が咲いていました。

最後に奈良崎校区長の音頭で、「高比良県議」「五輪市議」の議会での活躍と2期目の当選に向けて、ガンバロー三唱で終了しました。



坂本後援会長より挨拶



次期市議選へ出馬の決意を述べる五輪市議



後援者より激励を受ける「五輪市議」



和やかに会話がはずむ

編集後記

夏バテを防止する水分補給

夏は多くの汗をかきます。軽作業でも一日2ℓから3ℓの汗をかくと云われます。従って夏には汗の原料である水をたくさん補充する必要があります。普段はあまり水を飲まない人も、なるべく気をつけて水分を補給しましょう。水を飲まないと、ドロドロ血液になってしまい、むくみ・鼻水・下痢などの症状が出てきます。

しかし、水分が必要だからといって冷たい水をガブガブ一気に飲むと身体に吸収されにくく、胃腸が冷えて消化能力を落としてしまい、かえって夏バテになってしまいます。

一番いい方法は、温かい飲み物を少しずつ飲むことです。消化を促進したりリラックスする効果のあるハーブティーなどは夏バテに効果があるそうです。ご健康に！

ご相談はお気軽に！

いづわ清隆



長崎市議会議員
長崎市の都1丁目1444-13
自 宅 ☎(844)9599
生活相談室 ☎(861)1985

この用紙は再生紙を使用しています。

暑い日がまだまだ続きますが、皆さま方におかれましては益々ご健勝にて、ご活躍の事とお慶び申し上げます。私も市議会議員として一期目の最終年度を迎え、皆さま方のご支援・ご協力を賜り元気に諸活動をさせて頂いています。

そのようなかで、市民の方から国の税制改定について問い合わせがありました。その内容は「高齢者への課税強化」で65歳以上のお年寄りが対象となり、2005年1月から公的年金等控除の上乗せはなくなり、高齢者控除が全廃となり、税は前年の所得に対してかかるので、今年から住民税や所得税など前年度より多くなったため、どうにかならないのかとの相談でありました。

私も、少子・高齢化が進む中で介護保険や社会保障費・年金問題など地方行政では解決できない問題について、地方から国政に対して意見を反映させなければならぬと思います。

6月28日に開催しました「後援会総会」では多くの皆さまにご出席をいただき激励を賜りました。

総会の中で私は、来春施行されます「長崎市議会議員選挙」の2期目へ挑戦することを表明しました。

本市の財政状況は未だに厳しい状況であり、このような状況を打破するには、更に徹底した行政財政改革を行い、メリハリのある対策をしなければなりません。

その為にも、今まで以上に定例議会や常任委員会で議論をして行きたいと思っております。

私も尚一層努力し、市民の皆さんの声を市政に反映すると共に「長崎市民で良かった」「長崎に住みたい」と言われるような街づくりを目指して最大限活動して行く所存でありますので、更なるご指導・ご支援をよろしくお願致します。

長崎市議会議員 五輪 清隆

平成18年6月定例議会は、6月5日から22日までの18日間の会期で開催され、市立病院成人病センターの結核病床を60病床から30病床に減らす条例改正案など22議案を原案通り可決・承認・同意し閉会しました。今回の議会で「五輪清隆」議員は個人一般質問で、行政の問題点について質疑を行ないました。



自席にて再質問を行う

教育行政について

児童・生徒の安全対策について

【質問】安全な通学対策として集団登下校、保護者・地域との連携について。

【答弁】各学校で、危険箇所における立哨指導、複数人による集団登下校、下校時刻が遅くなる場合の保護者への連絡など実施しています。

地域との連携は、学校やPTA、自治会、育成協、民生委員、輔導委員など地域で子どもに関わる方々と子どもたちの安全確保のため、保護者と地域が一体となり巡回活動を行なっています。

【質問】市は防犯ブザーを平成16年度より小中学生の希望者に貸与されていますが、貸与率と所持率について。

【答弁】防犯ブザーの所有率は、昨年6月3日現在の調査で小学校は78.3%、中学校は34.6%の生徒が所有しています。防犯ブザーの所有者の内、調査当日に所有していた割合は小学校で80.3%、中学校で49.4%です。

【質問】防犯ブザーが子どもたちを不審者から守るため、児童・生徒全員に所持させたらどうか。

【答弁】保護者に十分な理解を求め、

防犯ブザーの普及啓発に努め、所持率向上に努めます。



防犯ブザーは、いざという時に、自分自身を守るための道具です。

学校選択制について

【質問】学校選択制2年目となる今年度の制度活用者の状況および入学者が減少する学校の問題点と課題、さらに昨年、従来の入学予定者に対して、入学者が多く減少した中学校の入学者数。

【答弁】本年度の制度利用者は、小学校258人、中学校322人で、昨年と比較して小学校が59人、中学校が71人の増加となっています。入学者が減少した学校の問題点は、部活動の制限やPTA活動に支障が生じています。

昨年度の入学者が多く減少した2中学校は、2校ともより減少の幅が大きくなっています。

1内に設置された第三者機関である専門委員会に了承を得る必要があるため、本市としては仮に事業者にその意思があったとしても、本市において許可どおりの事業展開が可能か見極める必要もあり、全国で若者自立塾を実施中の事業者に対して、本市で事業を行なう意思があるか否かの調査を行ない研究していきます。

老人交通費助成事業について

【質問】支給が始まる70歳の事業の説明、受給年齢最後となる80歳の支給時に本人へどのように説明されているのか。

【答弁】助成対象者への通知は、毎年4月に老人交通費助成事業利用券引換申請券をハガキで送付しております。この申請券には手続きに必要なもの、交付期間、交付場所、利用券の種類を記載していますが、新たに対象者となる70歳の方および次年度から対象から外れる80歳の方に対して説明は特に記載していない状況でありますので、今後は申請券に対象年齢を明記するなど、記載内容を見直していきます。

【質問】現行5000円の支給額を見直し、上限年齢撤廃は出来ないのか。

【答弁】現行の助成額年間5000円相当を3000円相当に減額して交付した場合、80歳の上限年齢枠を撤廃することは現行の予算の枠内で可能ですが、平成16年11月に提出された「明日の福祉を語る市民会議」の報告で、現行の助成額を維持してほしいとの一定の結論を頂いていますので、当面、現行制度を継続していきたい。

若者の未就業者対策について

【質問】県内・市内のフリーターおよびニートの人数。

【答弁】長崎労働局が、平成17年6月に発表した資料によると、県内のフリーターは27500人、ニートは5200人と発表されていますが、市町村単位での数値が集計されていないため本市の状況は把握できていません。

【質問】平成17年度から「若者自立塾」が設置され実施者の募集が始まっていますが、本市から応募する団体はなかったのか。

【答弁】「若者自立塾」は教育訓練も受けず、就労することもできないという若年者に対して、合宿形式による集団生活のなかで生活訓練、労働体験等を通じて最終的には就労等へつなげる取り組みで、この事業は国が法人格を持つ民間団体から広く公募し、第三者機関による意見を踏まえて実施団体を選定し、合宿に要する事業費の一部を助成する事業で、17年度に20団体・18年度に5団体が認定されておりです。

長崎県内・市内からの応募は、18年度に1団体ありましたが、不採択となつています。

【質問】ニートが増加していく中で、事業認定は難しい状況であるので現

全国にニート64万人フリーター213万人

若者雇用置き去り

学校に行かず仕事をせず、職業訓練も受けない「ニート」と呼ばれる若者が社会問題化している。二〇〇五年版労働経済白書によると、全国に六十四万人。フリーター二百三十三万人とも、社会保障制度の維持にも影を落とす。各党はマニフェスト(政権公約)に若者の雇用対策をうたうが、「現場の実態が分かっていない」と冷めた見方が広がっている。(一面参照)

05 選択



社会参加へのきっかけとして、職業訓練の権利を享受する若者の入所者 指導員

現状とズレ冷めた目も